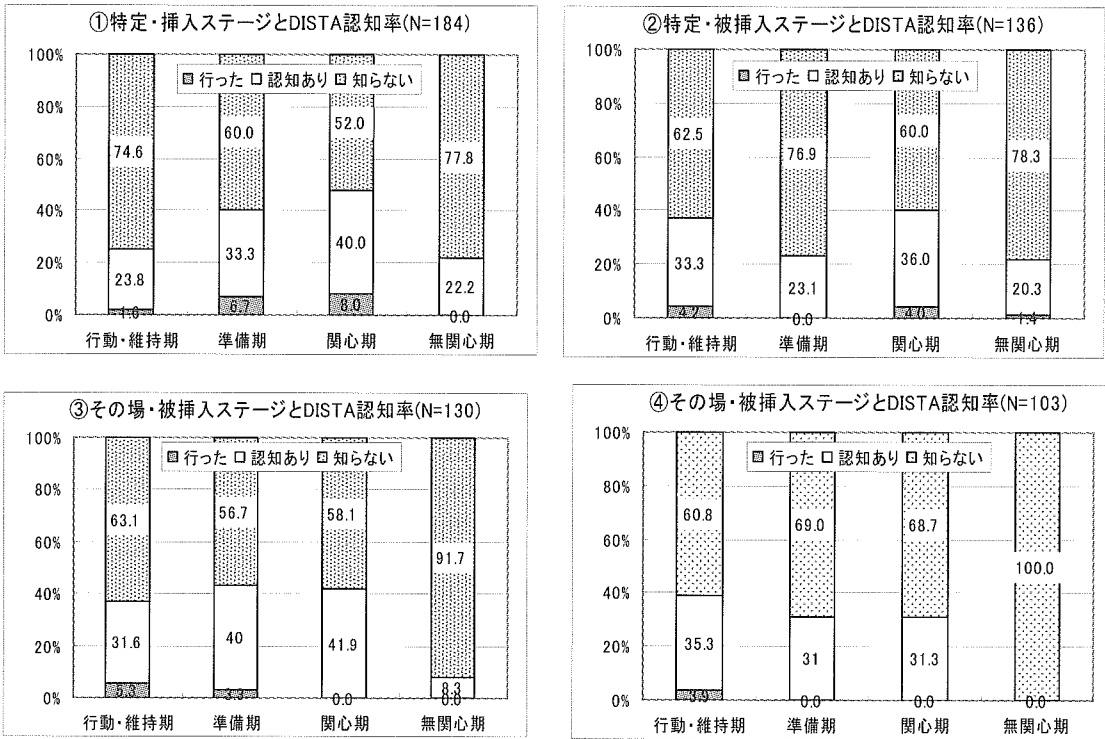


**図22. ステージ別のドロップインセンター-DISTA立ち寄り・認知率**



**図23. ステージ別のドロップインセンター-DISTA立ち寄り・認知率**

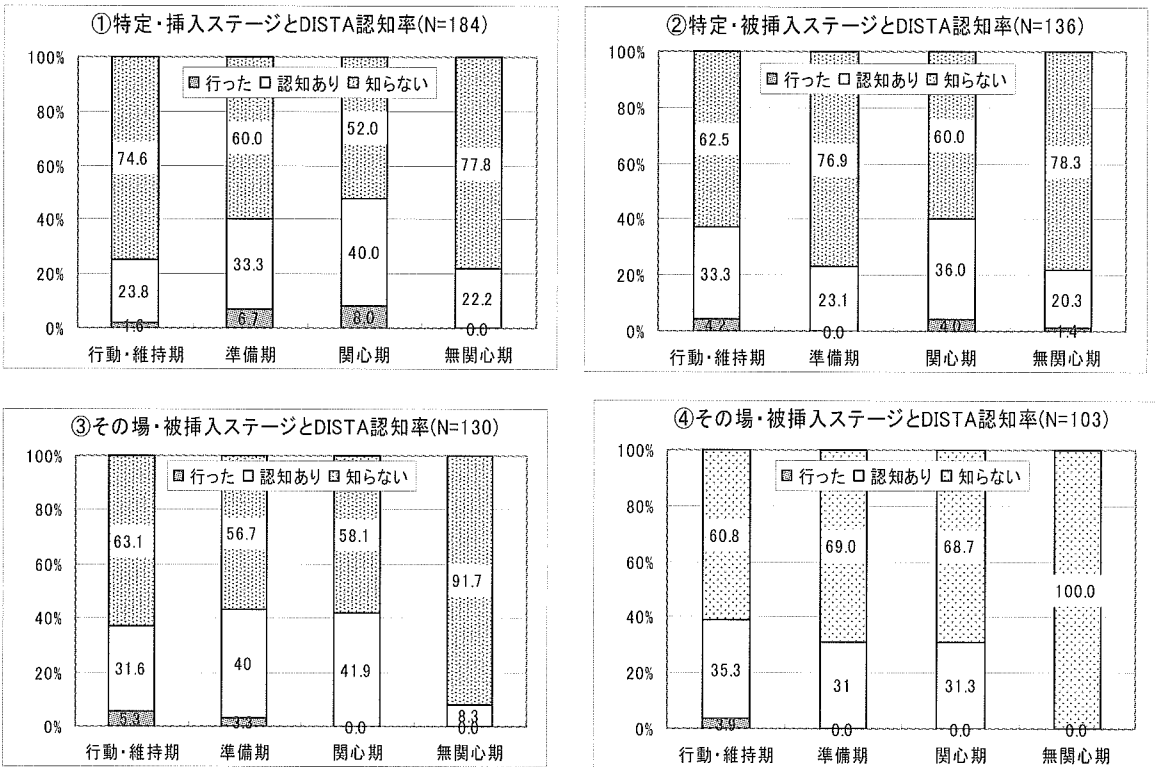
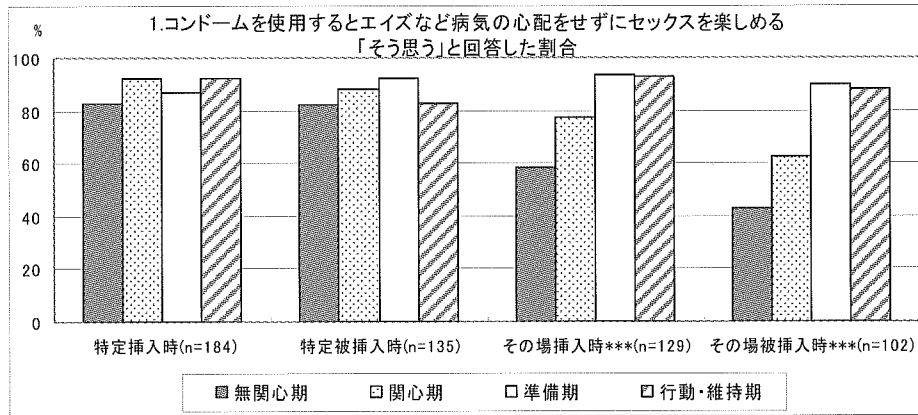


図 24 相手・行為別コンドーム使用ステージと HIV 感染予防に対する価値観・規範 ①



Mann-Whitney 検定

\*\*\* $P < 0.001$

\*\* $P < 0.01$

\* $P < 0.05$

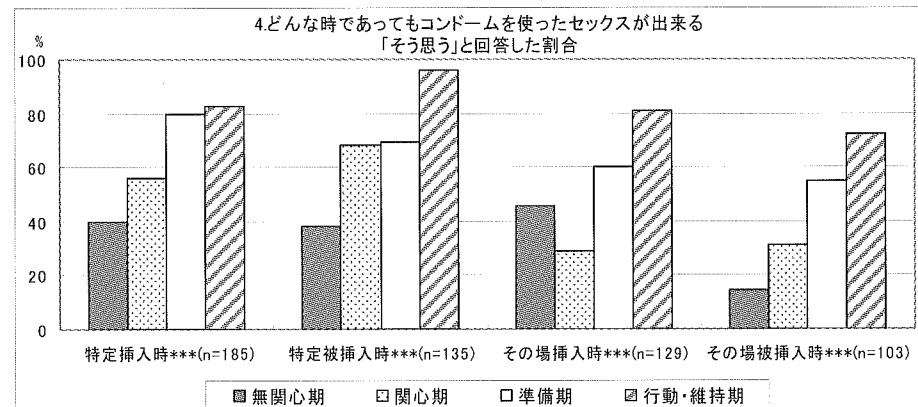
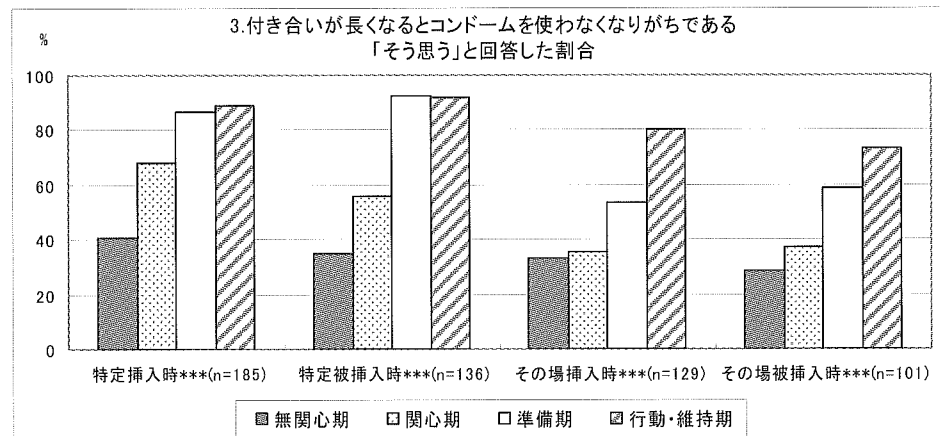
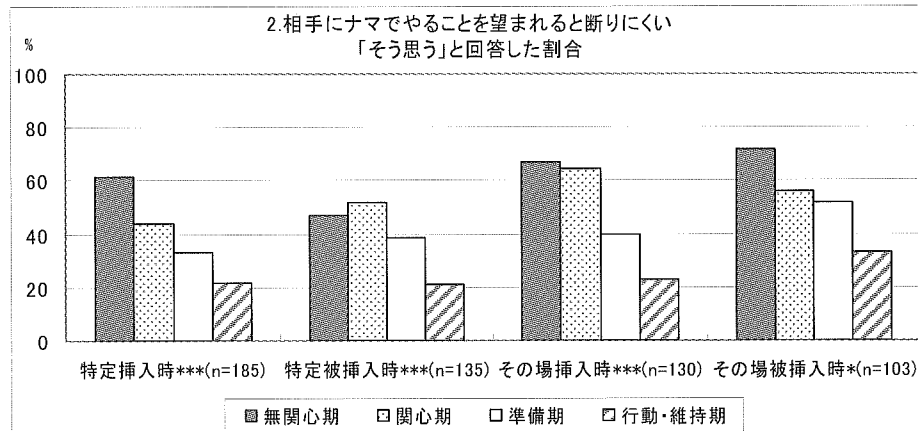
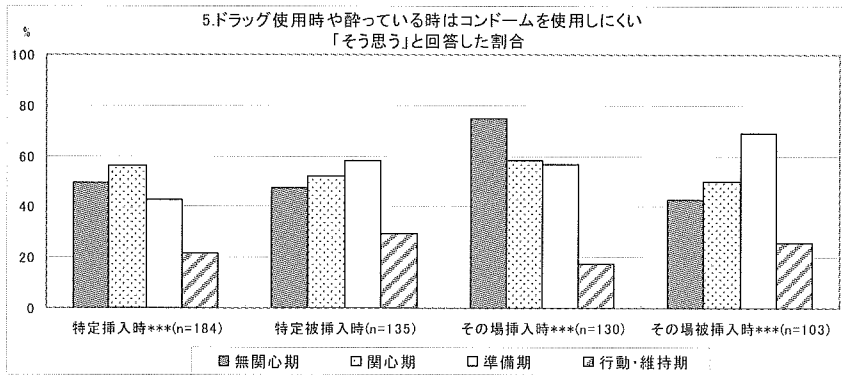


図 25 相手・行為別コンドーム使用ステージと HIV 感染予防に対する価値観・規範 ②

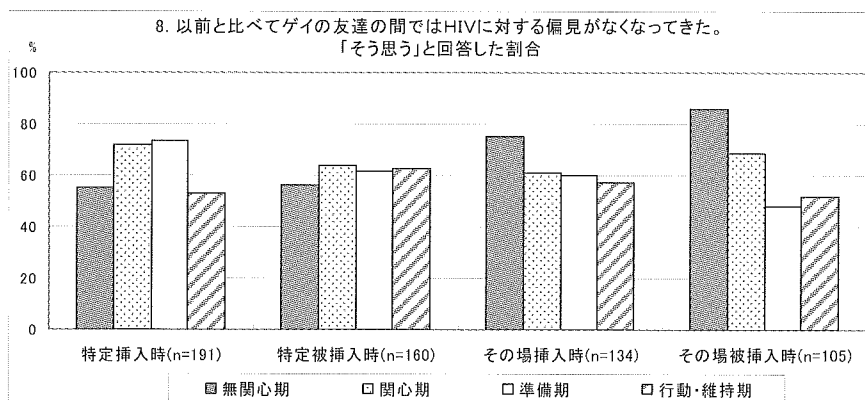
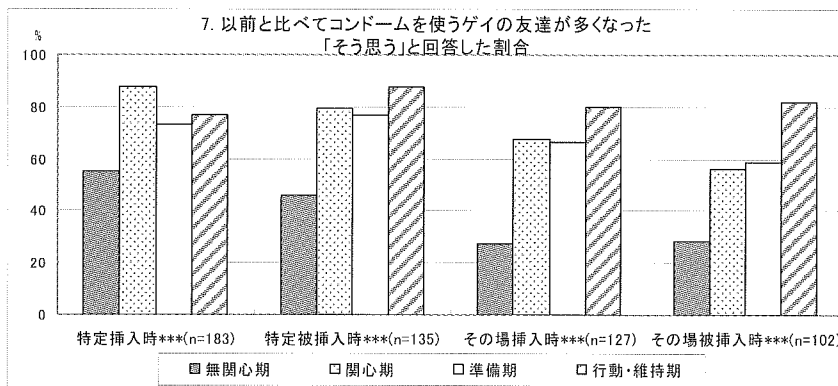
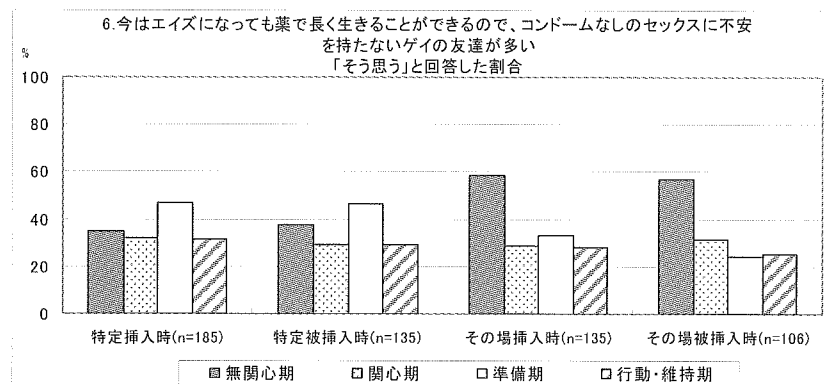


Mann-Whitney 検定

\*\*\*  $P < 0.001$

\*\*  $P < 0.01$

\*  $P < 0.05$



#### 4) コンドーム使用ステージ別の HIV 感染予防規範・価値観

HIV 感染予防に対する規範や価値観は計 8 問の質問にて尋ね、回答選択肢は「全くそう思わない」から「大変強くそう思う」の 5 段階であった。大変強く、強く、まあそう思うと回答したものを「そう思う」としてまとめ、それ以外を「思わない」にまとめて分析を行った。各行動のステージと HIV 感染予防に対する規範や価値観の関連を調べるため Mann-Whitney 検定を用いて傾向性の分析を行った。その結果、「コンドームを使うと病気の心配をせずに病気を楽しめる」「付き合いが長くなるとコンドームをつけなくなりがちである」「どんな時であってもコンドームをつけてセックスができる」「以前と比べてコンドームを使うゲイの友達が多くなった」の問いに「そう思う」と回答したものの割合は行動が維持期に向かうほど高くなっていった。逆に「相手にナマでやることをのぞまれると断りにくい」「ドラッグを使っているときや酔っている時はコンドームを使ったセックスをしにくい」と回答したものの割合は無関心期に向かうほど高くなっていった(図 24-25)。

#### D. 考察

本調査により、MASH 大阪が直接クライアントに配布を行ってきた予防啓発資材の認知、受け取り率は 60-70%と高率であることが明らかとなった。また、MASH 大阪の予防プログラムへの接触の程度や認知率、HIV 抗体検査受検行動、性感染症の既往、HIV 感染のリスク認識、性行動、コンドーム使用行動、ドラッグ使用、コンドーム使用への意図は年齢層との関連がみられ、今後の大阪地域の予防活動の指針となるデータを得ることが可能となった。

コンドーム使用の行動変化ステージの分布は性行為の相手別で異なり、その場限りの相手とのコンドーム使用においては、特定相手との

コンドーム使用よりも行動期、行動維持期にあるものがより多いことが明らかとなった。行動変化ステージと予防啓発プログラムの接触・認知率にも関連が見られ、無関心期、関心期にあるものは行動、行動維持期にあるもの比べて MASH 大阪の予防啓発プログラムの認知率が低いことが明らかとなった。HIV 感染予防の価値観、予防行動の規範も行動変化ステージと関連が見られ、行動変化ステージが維持期に近づくほど、自分の周囲にコンドーム使用者が増加している、コンドームを使用すると病気の心配なく性行為を行えるものの割合が高くなっていることが明らかとなった。

MASH 大阪が予防啓発のアウトリーチ活動を行っているクライアントに対して、商業施設の協力を得て精密な質問紙調査を実施するのは初めての試みであったが、比較的高率な回収率を得ることができた。このように直接クライアントに対して質問紙調査を実施することで、より詳細な活動の評価や新たなニーズの掘り起こしが可能となると考える。今後も方法に改良を重ねながら、このような調査を継続的に実施していくことで MSM に対する HIV/STI 感染予防活動の評価が可能になるであろう。

この研究成果を踏まえ、予防活動の達成度を評価する一方で、介入が行き届いていない層を明確化するとともに、その層に対していかに効果的に働きかけるかを考案していく必要がある。またコンドーム使用行動の変化ステージに関連する因子をより明確にし、より対象者を維持期に向かうことを支援するにはどのような因子に働きかけることが効果的なのかを考慮に入れた予防活動を実施することが望まれる。

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>居住地</b>					
大阪	141 ( 69.5 )	147 ( 70.3 )	88 ( 72.7 )	376 ( 70.5 )	0.413
大阪を除く近畿圏	41 ( 24.1 )	44 ( 21.1 )	27 ( 22.3 )	120 ( 22.6 )	
その他	13 ( 6.4 )	18 ( 8.6 )	6 ( 5.0 )	37 ( 6.9 )	
合計	195 ( 100.0 )	209 ( 100.0 )	121 ( 100.0 )	533 ( 100.0 )	
<b>セクシュアリティ</b>					
ゲイ	179 ( 89.1 )	190 ( 90.5 )	99 ( 81.8 )	468 ( 88.0 )	0.160
バイセクシュアル	19 ( 9.5 )	15 ( 7.1 )	19 ( 15.7 )	53 ( 10.0 )	
その他	3 ( 1.5 )	5 ( 2.4 )	3 ( 2.5 )	11 ( 2.1 )	
合計	201 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	121 ( 100.0 )	532 ( 100.0 )	
<b>パソコンインターネットの利用(過去1年)</b>					
あり	141 ( 70.9 )	170 ( 81.0 )	77 ( 63.1 )	388 ( 73.1 )	0.001
なし	58 ( 29.1 )	40 ( 19.0 )	45 ( 36.9 )	143 ( 26.9 )	
合計	199 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	122 ( 100.0 )	531 ( 100.0 )	
<b>携帯webの利用(過去1年)</b>					
あり	141 ( 70.9 )	146 ( 69.5 )	39 ( 32.0 )	326 ( 61.4 )	0.000
なし	58 ( 29.1 )	64 ( 30.5 )	83 ( 68.0 )	205 ( 38.6 )	
合計	199 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	122 ( 100.0 )	531 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月の施設利用(複数回答)</b>					
ゲイバー	194 ( 95.6 )	206 ( 98.1 )	121 ( 99.2 )	521 ( 97.4 )	0.095
ゲイナイト	76 ( 37.4 )	48 ( 22.9 )	6 ( 4.9 )	130 ( 24.3 )	0.000
PC出会い系	76 ( 37.4 )	69 ( 32.9 )	14 ( 11.5 )	159 ( 29.7 )	0.000
携帯出会い系	72 ( 35.5 )	55 ( 26.2 )	12 ( 9.8 )	139 ( 26.0 )	0.000
mixi(ソーシャルネットワーキングサイト)	87 ( 42.9 )	88 ( 41.9 )	17 ( 13.9 )	192 ( 35.9 )	0.000
サウナ系ハッテン場	97 ( 47.8 )	70 ( 33.3 )	35 ( 28.7 )	202 ( 37.8 )	0.001
マンション系ハッテン場	43 ( 21.2 )	30 ( 14.3 )	2 ( 1.6 )	75 ( 14.0 )	0.000
ゲイショップ	97 ( 47.8 )	90 ( 42.9 )	41 ( 33.6 )	228 ( 42.6 )	0.044
その他のハッテン場	37 ( 18.2 )	31 ( 14.8 )	14 ( 11.5 )	82 ( 15.3 )	0.253
<b>ドロップインセンターDISTA認知</b>					
行ったことがある	1 ( 0.5 )	6 ( 2.9 )	1 ( 0.8 )	8 ( 1.5 )	0.009
知っている	71 ( 35.0 )	48 ( 23.0 )	27 ( 22.1 )	146 ( 27.3 )	
知らない	131 ( 64.5 )	155 ( 74.2 )	94 ( 77.0 )	380 ( 71.2 )	
合計	203 ( 100.0 )	209 ( 100.0 )	122 ( 100.0 )	534 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪ホームページの認知</b>					
あり	29 ( 14.5 )	36 ( 17.3 )	12 ( 9.8 )	77 ( 14.5 )	0.176
なし	171 ( 85.5 )	172 ( 82.7 )	110 ( 90.2 )	453 ( 85.5 )	
合計	200 ( 100.0 )	208 ( 100.0 )	122 ( 100.0 )	530 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪イベントの参加経験</b>					
PLUS(エイズ予防啓発イベント)	34 ( 16.9 )	17 ( 8.2 )	10 ( 8.3 )	61 ( 11.5 )	0.010
SWITCH(検査イベント)	16 ( 8.1 )	19 ( 9.2 )	5 ( 4.5 )	40 ( 7.8 )	0.331
basement[g]	10 ( 5.1 )	7 ( 3.4 )	0 ( 0.0 )	17 ( 3.3 )	0.036
Living Togetherミーティング	1 ( 0.5 )	1 ( 0.5 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.4 )	1.000

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>MASH大阪イベントの認知(行ったことがあるものは除く)</b>					
PLUS(エイズ予防啓発イベント)	59 ( 29.4 )	55 ( 26.4 )	26 ( 21.5 )	140 ( 26.4 )	0.006
SWITCH(HIV抗体検査イベント)	37 ( 18.7 )	42 ( 20.3 )	17 ( 15.5 )	96 ( 18.6 )	0.183
basement[g] エイズ予防啓発クラブイベント)	21 ( 10.7 )	27 ( 13.1 )	6 ( 5.6 )	54 ( 10.6 )	0.013
Living Togetherミーティング(HIV感染者の手記リーディング)	17 ( 8.7 )	18 ( 8.8 )	8 ( 7.5 )	43 ( 8.5 )	0.900
<b>DISTAでのイベントの認知(参加者も含む)(複数回答)</b>					
CHAT(STI勉強会)	30 ( 15.1 )	27 ( 12.9 )	14 ( 11.7 )	71 ( 13.4 )	0.667
Café link 友達作りイベント	27 ( 13.6 )	21 ( 10.2 )	10 ( 9.0 )	58 ( 11.3 )	0.388
Step 友達作りイベント	19 ( 9.6 )	15 ( 7.3 )	6 ( 5.4 )	40 ( 7.8 )	0.401
サロンドオニ	19 ( 9.6 )	12 ( 5.8 )	7 ( 6.5 )	38 ( 7.4 )	0.335
(旧)STD勉強会	45 ( 22.8 )	31 ( 15.0 )	22 ( 19.8 )	98 ( 19.1 )	0.134
手話教室	47 ( 24.0 )	40 ( 19.4 )	20 ( 18.2 )	107 ( 20.9 )	0.385
気功教室	33 ( 16.8 )	21 ( 10.2 )	11 ( 10.1 )	65 ( 12.7 )	0.098
語学教室	41 ( 20.8 )	36 ( 17.5 )	23 ( 20.7 )	100 ( 19.5 )	0.648
中国茶会(サークル)	50 ( 25.1 )	27 ( 13.1 )	16 ( 14.4 )	93 ( 18.0 )	0.004
CAMP	23 ( 11.7 )	12 ( 5.8 )	9 ( 8.2 )	44 ( 8.6 )	0.106
<b>コミュニティーペーパーSaL+*の認知(*:MASH大阪のHIV予防誌)</b>					
あり	151 ( 74.4 )	135 ( 64.3 )	72 ( 59.5 )	358 ( 67.0 )	0.012
なし	52 ( 25.6 )	75 ( 35.7 )	49 ( 40.5 )	176 ( 33.0 )	
合計	203 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	121 ( 100.0 )	534 ( 100.0 )	
<b>コミュニティーペーパーSaL+入手経験</b>					
あり	153 ( 75.4 )	140 ( 66.7 )	75 ( 62.0 )	368 ( 68.9 )	0.028
なし	50 ( 24.6 )	70 ( 33.3 )	46 ( 38.0 )	166 ( 31.1 )	
合計	203 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	121 ( 100.0 )	534 ( 100.0 )	
<b>コミュニティーペーパーSaL+入手場所(複数回答)</b>					
ゲイバー	146 ( 95.0 )	137 ( 98.6 )	72 ( 97.3 )	355 ( 97.0 )	0.316
路上	3 ( 2.0 )	0 ( 0.0 )	1 ( 1.4 )	4 ( 1.1 )	0.258
Dista	6 ( 3.9 )	3 ( 2.2 )	3 ( 4.1 )	12 ( 3.3 )	0.644
ゲイショップ	8 ( 5.2 )	11 ( 7.9 )	3 ( 4.1 )	22 ( 6.0 )	0.532
ハッテン場	17 ( 11.1 )	9 ( 6.5 )	1 ( 1.4 )	27 ( 7.4 )	0.020
<b>コミュニティーペーパーSaL+持ち帰り経験</b>					
あり	103 ( 68.2 )	100 ( 71.4 )	33 ( 45.2 )	236 ( 64.8 )	0.000
なし	48 ( 31.8 )	40 ( 28.6 )	40 ( 54.8 )	128 ( 35.2 )	
合計	151 ( 100.0 )	140 ( 100.0 )	73 ( 100.0 )	364 ( 100.0 )	
<b>過去1年間のコミュニティーペーパーSaL+購読頻度</b>					
毎月	48 ( 31.6 )	28 ( 20.3 )	32 ( 42.7 )	108 ( 29.6 )	0.017
2-3月に1回	64 ( 42.1 )	71 ( 51.4 )	22 ( 29.3 )	157 ( 43.0 )	
半年に1回	15 ( 9.9 )	13 ( 9.4 )	10 ( 13.3 )	38 ( 10.4 )	
1回だけ	20 ( 13.2 )	15 ( 10.9 )	8 ( 10.7 )	43 ( 11.8 )	
読んだことはない	5 ( 3.3 )	11 ( 8.0 )	3 ( 4.0 )	19 ( 5.2 )	
合計	152 ( 100.0 )	138 ( 100.0 )	75 ( 100.0 )	365 ( 100.0 )	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>コミュニティペーパーSaL+を読んだ理由(複数回答)</b>					
特集記事が読みたかった	113 ( 75.3 )	98 ( 73.7 )	62 ( 83.8 )	273 ( 76.5 )	0.237
商業施設mapが便利だから	51 ( 34.0 )	39 ( 29.3 )	28 ( 37.8 )	118 ( 33.1 )	0.436
おもしろそうだから	55 ( 36.7 )	41 ( 30.8 )	22 ( 29.7 )	118 ( 33.1 )	0.460
表紙にひかれたから	26 ( 17.3 )	29 ( 21.8 )	10 ( 13.5 )	65 ( 18.2 )	0.312
役に立つ情報がありそうだから	44 ( 29.3 )	38 ( 28.6 )	24 ( 32.4 )	106 ( 29.7 )	0.837
バーにあった	79 ( 52.7 )	81 ( 60.9 )	46 ( 62.2 )	206 ( 57.7 )	0.257
<b>コミュニティペーパーSaL+購読記事(複数回答)</b>					
マップ(堂山商業施設地図)	126 ( 85.1 )	112 ( 84.2 )	58 ( 82.9 )	296 ( 84.3 )	0.910
STIミニ辞典	44 ( 29.7 )	26 ( 19.5 )	8 ( 11.4 )	78 ( 22.2 )	0.006
映画情報	41 ( 27.7 )	26 ( 19.5 )	27 ( 38.6 )	94 ( 26.8 )	0.014
HIV検査情報	56 ( 37.8 )	49 ( 36.8 )	17 ( 24.3 )	122 ( 34.8 )	0.119
コミュニティセンターdista情報	30 ( 20.3 )	14 ( 10.5 )	10 ( 14.3 )	54 ( 15.4 )	0.075
グルメ情報	22 ( 14.9 )	15 ( 11.3 )	11 ( 15.7 )	48 ( 13.7 )	0.585
ケツマンDASH(商業施設情報)	41 ( 27.7 )	25 ( 18.8 )	11 ( 15.7 )	77 ( 21.9 )	0.073
大女装画報	34 ( 23.0 )	12 ( 9.0 )	7 ( 10.0 )	53 ( 15.1 )	0.002
HIV陽性者のエッセイ	30 ( 20.3 )	22 ( 16.5 )	10 ( 14.3 )	62 ( 17.7 )	0.508
しっとこ(セックスライフと健康に関する情報)	50 ( 33.8 )	31 ( 23.3 )	19 ( 27.1 )	100 ( 28.5 )	0.146
その他	3 ( 2.0 )	4 ( 3.0 )	0 ( 0.0 )	7 ( 2.0 )	0.346
<b>コミュニティペーパーSaL+のお友達への紹介経験</b>					
あり	31 ( 20.4 )	20 ( 14.5 )	14 ( 19.2 )	65 ( 17.9 )	0.404
なし	121 ( 79.6 )	118 ( 85.5 )	59 ( 80.8 )	298 ( 82.1 )	
合計	152 ( 100.0 )	138 ( 100.0 )	73 ( 100.0 )	363 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪コンドームの認知</b>					
あり	145 ( 73.2 )	146 ( 71.2 )	86 ( 74.1 )	377 ( 72.6 )	0.829
なし	53 ( 26.8 )	59 ( 28.8 )	30 ( 25.9 )	142 ( 27.4 )	
合計	198 ( 100.0 )	205 ( 100.0 )	116 ( 100.0 )	519 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪コンドーム持ち帰り経験</b>					
あり	129 ( 63.9 )	135 ( 64.3 )	75 ( 62.0 )	339 ( 63.6 )	0.912
なし	73 ( 36.1 )	75 ( 35.7 )	46 ( 38.0 )	194 ( 36.4 )	
合計	202 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	121 ( 100.0 )	533 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪コンドーム入手場所(バー、複数回答)</b>					
堂山	114 ( 91.2 )	107 ( 79.3 )	40 ( 56.3 )	261 ( 78.9 )	0.000
ミナミ	14 ( 11.2 )	44 ( 32.6 )	29 ( 40.8 )	87 ( 26.3 )	0.000
新世界	0 ( 0.0 )	8 ( 5.9 )	7 ( 9.9 )	15 ( 4.5 )	0.004
その他	4 ( 3.2 )	2 ( 1.5 )	1 ( 1.4 )	1 ( 1.4 )	0.564
<b>MASH大阪コンドーム持ち帰り頻度</b>					
月1回以上	38 ( 29.5 )	33 ( 24.8 )	18 ( 24.3 )	89 ( 26.5 )	0.257
2-3ヶ月に一回以上	38 ( 29.5 )	33 ( 24.8 )	14 ( 18.9 )	85 ( 25.3 )	
半年に1回以上	20 ( 15.5 )	30 ( 22.6 )	13 ( 17.6 )	63 ( 18.8 )	
1回だけ	33 ( 25.6 )	37 ( 27.8 )	29 ( 39.2 )	99 ( 29.5 )	
合計	129 ( 100.0 )	133 ( 100.0 )	74 ( 100.0 )	336 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪コンドームを持ち帰った理由</b>					
デザインが面白かった	67 ( 53.2 )	44 ( 33.6 )	14 ( 18.9 )	125 ( 37.8 )	0.000
使う予定があった	32 ( 25.4 )	42 ( 32.1 )	24 ( 32.4 )	98 ( 29.6 )	0.420
無料だから	79 ( 62.7 )	73 ( 55.7 )	50 ( 67.6 )	202 ( 61.0 )	0.220
なんとなく	35 ( 27.8 )	39 ( 29.8 )	18 ( 24.3 )	92 ( 27.8 )	0.705
お店の人からもらった	36 ( 28.6 )	41 ( 31.3 )	23 ( 31.1 )	100 ( 30.2 )	0.878
その他	7 ( 5.6 )	4 ( 3.1 )	2 ( 2.7 )	13 ( 3.9 )	0.486

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>MASH大阪のコンドームの使用?(持ち帰り経験のあるもののみ)</b>					
使った	84 ( 65.6 )	91 ( 67.9 )	48 ( 65.8 )	223 ( 66.6 )	0.913
使わなかった	44 ( 34.4 )	43 ( 32.1 )	25 ( 34.2 )	112 ( 33.4 )	
合計	128 ( 100.0 )	134 ( 100.0 )	73 ( 100.0 )	335 ( 100.0 )	
<b>MASH大阪コンドーム配布休止後の行動変化</b>					
コンドームを買って使うようになった	27 ( 21.6 )	19 ( 14.4 )	9 ( 12.3 )	55 ( 16.7 )	0.434
コンドームを使わなくなった	7 ( 5.6 )	11 ( 8.3 )	3 ( 4.1 )	21 ( 6.4 )	
変わらない	82 ( 65.6 )	92 ( 69.7 )	57 ( 78.1 )	231 ( 70.0 )	
その他	9 ( 7.2 )	10 ( 7.6 )	4 ( 5.5 )	23 ( 7.0 )	
合計	125 ( 100.0 )	132 ( 100.0 )	73 ( 100.0 )	330 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月間にコンドームを購入した経験</b>					
あり	66 ( 33.2 )	66 ( 31.9 )	32 ( 26.9 )	164 ( 31.2 )	0.489
なし	133 ( 66.8 )	141 ( 68.1 )	87 ( 73.1 )	361 ( 68.8 )	
合計	199 ( 100.0 )	207 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	525 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月のコンドーム購入場所(複数回答)</b>					
ドラッグストア	35 ( 53.8 )	43 ( 65.2 )	22 ( 68.8 )	100 ( 61.3 )	0.261
コンビニ・スーパー	24 ( 36.9 )	17 ( 25.8 )	4 ( 12.5 )	45 ( 27.6 )	0.037
通販ネット	2 ( 3.1 )	0 ( 0.0 )	1 ( 3.1 )	3 ( 1.8 )	0.353
ゲイショップ	8 ( 12.3 )	17 ( 25.8 )	2 ( 6.3 )	27 ( 16.6 )	0.025
ハッテン場	7 ( 10.8 )	5 ( 7.6 )	1 ( 3.1 )	13 ( 8.0 )	0.421
その他	4 ( 6.2 )	5 ( 7.6 )	5 ( 15.6 )	14 ( 8.6 )	0.273
<b>過去1年間のHIV抗体検査受検</b>					
あり	71 ( 35.0 )	59 ( 28.2 )	20 ( 16.7 )	150 ( 28.2 )	0.002
なし	132 ( 65.0 )	150 ( 71.8 )	100 ( 83.3 )	382 ( 71.8 )	
合計	203 ( 100.0 )	209 ( 100.0 )	120 ( 100.0 )	532 ( 100.0 )	
<b>過去1年間のHIV抗体検査の場所(過去1年受検者のみ、複数回答)</b>					
病院・医院	27 ( 38.6 )	19 ( 32.2 )	6 ( 30.0 )	52 ( 34.9 )	0.665
保健所・保健センター	32 ( 45.7 )	24 ( 40.7 )	10 ( 50.0 )	66 ( 44.3 )	0.728
木曜・夜間検査	7 ( 10.0 )	5 ( 8.5 )	1 ( 5.0 )	13 ( 8.7 )	0.780
土曜検査	6 ( 8.6 )	13 ( 22.0 )	2 ( 10.0 )	21 ( 14.1 )	0.078
日曜検査	1 ( 1.4 )	1 ( 1.7 )	0 ( 0.0 )	2 ( 1.3 )	0.847
名古屋NLGR	3 ( 4.3 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 2.0 )	0.178
その他	1 ( 1.4 )	3 ( 5.1 )	2 ( 10.0 )	6 ( 4.0 )	0.198
<b>HIV抗体検査印象が悪かった経験(過去1年受検者のみ)</b>					
あり	13 ( 18.6 )	5 ( 8.6 )	2 ( 10.0 )	20 ( 13.5 )	0.231
ない	57 ( 81.4 )	53 ( 91.4 )	18 ( 90.0 )	128 ( 86.5 )	
合計	70 ( 100.0 )	58 ( 100.0 )	20 ( 100.0 )	148 ( 100.0 )	
<b>郵送HIV検査の利用経験(生涯)</b>					
あり	3 ( 1.5 )	4 ( 1.9 )	1 ( 0.8 )	8 ( 1.5 )	
なし	199 ( 98.5 )	203 ( 98.1 )	120 ( 99.2 )	522 ( 98.5 )	
合計	202 ( 100.0 )	207 ( 100.0 )	121 ( 100.0 )	530 ( 100.0 )	
<b>郵送HIV検査利用時の不安(郵送検査利用者のみ)</b>					
あり	2 ( 66.7 )	0 ( 0.0 )	1 ( 100.0 )	3 ( 37.5 )	
なし	1 ( 33.3 )	4 ( 100.0 )	0 ( 0.0 )	5 ( 62.5 )	
合計	3 ( 100.0 )	4 ( 100.0 )	1 ( 100.0 )	8 ( 100.0 )	
<b>性感染症の罹患経験(生涯)</b>					
あり	55 ( 27.1 )	57 ( 27.4 )	47 ( 39.2 )	159 ( 29.9 )	0.043
なし	148 ( 72.9 )	151 ( 72.6 )	73 ( 60.8 )	372 ( 70.1 )	
合計	203 ( 100.0 )	208 ( 100.0 )	120 ( 100.0 )	531 ( 100.0 )	



付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>過去に罹患した性感染症の種類(既往歴のある者のみ、複数回答)</b>					
梅毒	12 ( 22.2 )	18 ( 31.6 )	10 ( 21.3 )	40 ( 25.3 )	0.394
B型肝炎	10 ( 18.5 )	12 ( 21.1 )	3 ( 6.4 )	25 ( 15.8 )	0.100
A型肝炎	0 ( 0.0 )	4 ( 7.0 )	3 ( 6.4 )	7 ( 4.4 )	0.148
クラミジア	11 ( 20.4 )	8 ( 14.0 )	17 ( 32.6 )	36 ( 22.8 )	0.024
淋病	12 ( 22.2 )	14 ( 24.6 )	22 ( 46.8 )	48 ( 30.4 )	0.014
HIV感染症	3 ( 5.6 )	5 ( 8.8 )	1 ( 2.1 )	9 ( 5.7 )	0.346
アメーバ赤痢	0 ( 0.0 )	2 ( 3.5 )	1 ( 2.1 )	1 ( 2.1 )	0.396
ケジラミ	13 ( 24.1 )	6 ( 10.5 )	2 ( 4.3 )	21 ( 13.3 )	0.010
コンジローマ	4 ( 7.4 )	5 ( 8.8 )	0 ( 0.0 )	9 ( 5.7 )	0.126
ヘルペス	2 ( 3.7 )	2 ( 3.5 )	0 ( 0.0 )	4 ( 2.5 )	0.419
その他	4 ( 7.4 )	4 ( 7.0 )	2 ( 4.3 )	10 ( 6.3 )	0.782
<b>性感染症罹患時の受診病院の認知</b>					
知っている	101 ( 50.2 )	110 ( 53.9 )	70 ( 58.8 )	281 ( 53.6 )	0.329
知らない	100 ( 49.8 )	94 ( 46.1 )	49 ( 41.2 )	243 ( 46.4 )	
合計	201 ( 100.0 )	204 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	524 ( 100.0 )	
<b>HIVに感染する可能性の認知</b>					
絶対ない	27 ( 13.5 )	17 ( 8.3 )	13 ( 10.9 )	57 ( 10.9 )	0.029
ほとんどない	57 ( 28.5 )	71 ( 34.6 )	56 ( 47.1 )	184 ( 35.1 )	
五分五分	49 ( 24.5 )	57 ( 27.8 )	18 ( 15.1 )	124 ( 23.7 )	
十分可能性がある	36 ( 18.0 )	31 ( 15.1 )	14 ( 11.8 )	81 ( 15.5 )	
わからない	31 ( 15.5 )	29 ( 14.1 )	18 ( 15.1 )	78 ( 14.9 )	
合計	200 ( 100.0 )	205 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	524 ( 100.0 )	
<b>HIVに感染した友達、知り合いの有無</b>					
いる	47 ( 23.7 )	68 ( 33.5 )	27 ( 22.7 )	142 ( 27.3 )	0.039
いない	151 ( 76.3 )	135 ( 66.5 )	92 ( 77.3 )	378 ( 72.7 )	
合計	198 ( 100.0 )	203 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	520 ( 100.0 )	
<b>HIV感染者の仕事や日常生活の認知</b>					
知っている	45 ( 22.5 )	64 ( 31.4 )	27 ( 22.7 )	136 ( 26.0 )	0.082
知らない	155 ( 77.5 )	140 ( 68.6 )	92 ( 77.3 )	387 ( 74.0 )	
合計	200 ( 100.0 )	204 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	523 ( 100.0 )	
<b>エイズ関連知識(正答率)</b>					
HIVは延命治療可能	132 ( 65.0 )	138 ( 66.3 )	76 ( 63.3 )	346 ( 65.2 )	0.780
感染後2-3日で検査結果判明	142 ( 70.0 )	158 ( 76.0 )	84 ( 70.0 )	384 ( 72.3 )	0.347
HIV/STD重複感染	116 ( 57.1 )	112 ( 54.1 )	65 ( 55.6 )	296 ( 55.6 )	0.646
梅毒はオーラルセックスやリミ ングで感染	137 ( 67.5 )	149 ( 71.6 )	83 ( 69.2 )	369 ( 69.5 )	0.399
迅速検査では擬陽性が出るこ とがある	96 ( 47.3 )	99 ( 47.8 )	55 ( 46.2 )	250 ( 47.3 )	0.951
MSMでの感染者は増加	175 ( 86.2 )	190 ( 91.3 )	103 ( 85.8 )	468 ( 88.1 )	0.366
<b>過去6ヶ月のエイズ情報の入手</b>					
あり	113 ( 55.9 )	117 ( 56.5 )	60 ( 50.0 )	290 ( 54.8 )	0.479
なし	89 ( 44.1 )	90 ( 43.5 )	60 ( 50.0 )	239 ( 45.2 )	
合計	202 ( 100.0 )	207 ( 100.0 )	120 ( 100.0 )	529 ( 100.0 )	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>エイズ関連の情報入手源</b>					
人づて	39 ( 34.5 )	35 ( 30.2 )	16 ( 27.1 )	198 ( 68.8 )	0.579
口コミ	39 ( 19.3 )	35 ( 17.0 )	16 ( 13.4 )	90 ( 17.1 )	0.403
ゲイ雑誌	52 ( 46.0 )	50 ( 43.1 )	31 ( 52.5 )	133 ( 46.2 )	0.496
インターネット	52 ( 46.0 )	56 ( 48.3 )	10 ( 16.9 )	118 ( 41.0 )	0.000
携帯サイト	11 ( 9.7 )	7 ( 6.0 )	0 ( 0.0 )	18 ( 6.3 )	0.043
MASH大阪HP	5 ( 4.4 )	6 ( 5.2 )	1 ( 1.7 )	12 ( 4.2 )	0.545
電話相談	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	
SAL+	18 ( 15.9 )	20 ( 17.2 )	8 ( 13.6 )	46 ( 16.0 )	0.821
保健所	9 ( 8.0 )	9 ( 7.8 )	1 ( 1.7 )	19 ( 6.6 )	0.235
その他	11 ( 9.7 )	12 ( 10.3 )	8 ( 13.6 )	31 ( 10.8 )	0.731
学校	2 ( 1.8 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.7 )	
TV	1 ( 0.9 )	3 ( 2.6 )	2 ( 3.4 )	6 ( 2.1 )	0.486
新聞	1 ( 0.9 )	3 ( 2.6 )	3 ( 5.1 )	7 ( 2.4 )	0.234
病院	2 ( 1.8 )	1 ( 0.9 )	0 ( 0.0 )	3 ( 1.0 )	0.538
<b>男性との性行為経験(アナルセックス、オーラルセックス)</b>					
あり	189 ( 93.1 )	203 ( 96.7 )	120 ( 98.4 )	512 ( 95.7 )	0.052
なし	14 ( 6.9 )	7 ( 3.3 )	2 ( 1.6 )	23 ( 4.3 )	
合計	203 ( 100.0 )	210 ( 100.0 )	122 ( 100.0 )	535 ( 100.0 )	
<b>初めて男性と性交した年齢</b>					
20歳未満	129 ( 68.6 )	85 ( 42.5 )	50 ( 43.1 )	264 ( 52.4 )	0.000
20-29歳	58 ( 30.9 )	106 ( 53.0 )	51 ( 44.0 )	215 ( 42.7 )	
30-39歳	1 ( 0.5 )	9 ( 4.5 )	8 ( 6.9 )	18 ( 3.6 )	
40歳以上	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	7 ( 6.0 )	7 ( 1.4 )	
合計	188 ( 100.0 )	200 ( 100.0 )	116 ( 100.0 )	504 ( 100.0 )	
<b>初めて男性と性交したときの相手の年齢</b>					
20歳未満	49 ( 32.2 )	34 ( 23.6 )	23 ( 26.1 )	106 ( 27.6 )	0.006
20-29歳	64 ( 42.1 )	58 ( 40.3 )	29 ( 33.0 )	151 ( 39.3 )	
30-39歳	30 ( 19.7 )	40 ( 27.8 )	18 ( 20.5 )	88 ( 22.9 )	
40歳以上	9 ( 5.9 )	12 ( 8.3 )	18 ( 20.5 )	39 ( 10.2 )	
合計	152 ( 100.0 )	144 ( 100.0 )	88 ( 100.0 )	384 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月間の特定相手とのオーラルセックスの有無</b>					
あり	141 ( 75.0 )	149 ( 73.4 )	88 ( 73.9 )	378 ( 74.1 )	0.936
なし	47 ( 25.0 )	54 ( 26.6 )	31 ( 26.1 )	132 ( 25.9 )	
合計	188 ( 100.0 )	203 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	510 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月の特定相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(する側)</b>					
毎回使った	4 ( 3.1 )	4 ( 2.9 )	2 ( 2.5 )	10 ( 2.8 )	0.352
時々使った	9 ( 6.9 )	11 ( 7.9 )	1 ( 1.2 )	21 ( 6.0 )	
使わなかった	118 ( 90.1 )	125 ( 89.3 )	78 ( 96.3 )	321 ( 91.2 )	
合計	131 ( 100.0 )	140 ( 100.0 )	81 ( 100.0 )	352 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月の特定相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(される側)</b>					
毎回使った	3 ( 2.3 )	2 ( 1.5 )	1 ( 1.3 )	6 ( 1.8 )	0.421
時々使った	9 ( 7.0 )	8 ( 6.0 )	1 ( 1.3 )	18 ( 5.3 )	
使わなかった	117 ( 90.7 )	124 ( 92.5 )	77 ( 97.5 )	318 ( 93.0 )	
合計	129 ( 100.0 )	134 ( 100.0 )	79 ( 100.0 )	342 ( 100.0 )	

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>過去6ヶ月間のその場限り相手とのオーラルセックスの有無</b>					
あり	129 ( 68.6 )	114 ( 56.2 )	53 ( 44.9 )	296 ( 58.2 )	0.000
なし	59 ( 31.4 )	89 ( 43.8 )	65 ( 55.1 )	213 ( 41.8 )	
合計	188 ( 100.0 )	203 ( 100.0 )	118 ( 100.0 )	509 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月のその場限り相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(する側)</b>					
毎回使った	5 ( 4.2 )	6 ( 5.6 )	2 ( 4.4 )	13 ( 4.8 )	0.978
時々使った	8 ( 6.8 )	8 ( 7.4 )	4 ( 8.9 )	20 ( 7.4 )	
使わなかった	105 ( 89.0 )	94 ( 87.0 )	39 ( 86.7 )	238 ( 87.8 )	
合計	118 ( 100.0 )	108 ( 100.0 )	45 ( 100.0 )	271 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月のその場限り相手とのオーラルセックス時のコンドーム使用(される側)</b>					
毎回使った	7 ( 5.7 )	5 ( 5.0 )	1 ( 2.5 )	13 ( 4.9 )	0.821
時々使った	6 ( 4.9 )	8 ( 7.9 )	3 ( 7.5 )	17 ( 6.5 )	
使わなかった	109 ( 89.3 )	88 ( 87.1 )	36 ( 90.0 )	233 ( 88.6 )	
合計	122 ( 100.0 )	101 ( 100.0 )	40 ( 100.0 )	263 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月の特定相手のアナルセックスの有無</b>					
あり	103 ( 54.5 )	99 ( 49.0 )	53 ( 44.9 )	255 ( 50.1 )	0.243
なし	86 ( 45.5 )	103 ( 51.0 )	65 ( 55.1 )	254 ( 49.9 )	
合計	189 ( 100.0 )	202 ( 100.0 )	118 ( 100.0 )	509 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月の特定相手アナルセックスの相手の人数</b>					
1人	42 ( 43.8 )	56 ( 58.9 )	28 ( 54.9 )	126 ( 52.1 )	0.410
2-4人	36 ( 37.5 )	22 ( 23.2 )	14 ( 27.5 )	72 ( 29.8 )	
5-9人	10 ( 10.4 )	9 ( 9.5 )	6 ( 11.8 )	25 ( 10.3 )	
10人以上	8 ( 8.3 )	8 ( 8.4 )	3 ( 5.9 )	19 ( 7.9 )	
合計	96 ( 100.0 )	95 ( 100.0 )	51 ( 100.0 )	242 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月特定相手とのアナルセックス時のコンドーム使用(挿入側)</b>					
毎回使った	24 ( 32.0 )	30 ( 40.0 )	11 ( 28.2 )	65 ( 34.4 )	0.313
使用が多い・半々	22 ( 29.3 )	18 ( 24.0 )	7 ( 17.9 )	47 ( 24.9 )	
全く不使用・不使用が多かった	29 ( 38.7 )	27 ( 36.0 )	21 ( 53.8 )	77 ( 40.7 )	
合計	75 ( 100.0 )	75 ( 100.0 )	39 ( 99.9 )	189 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月の特定相手とのアナルセックス時のコンドーム使用(被挿入側)</b>					
毎回使った	30 ( 39.5 )	22 ( 37.9 )	5 ( 20.8 )	57 ( 36.1 )	0.530
使用が多い・半々	18 ( 23.7 )	12 ( 20.7 )	7 ( 29.2 )	37 ( 23.4 )	
全く不使用・不使用が多かった	28 ( 36.8 )	24 ( 41.4 )	12 ( 50.0 )	64 ( 40.5 )	
合計	76 ( 100.0 )	58 ( 100.0 )	24 ( 100.0 )	158 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月のその場限り相手のアナルセックスの有無</b>					
あり	84 ( 44.7 )	69 ( 34.0 )	28 ( 23.7 )	181 ( 35.6 )	0.001
なし	104 ( 55.3 )	134 ( 66.0 )	90 ( 76.3 )	328 ( 64.4 )	
合計	188 ( 100.0 )	203 ( 100.0 )	118 ( 100.0 )	509 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月のその場限りのアナルセックスの相手の人数</b>					
1人	11 ( 16.2 )	12 ( 17.6 )	6 ( 25.0 )	29 ( 18.1 )	0.633
2-4人	26 ( 38.2 )	17 ( 25.0 )	6 ( 25.0 )	49 ( 30.6 )	
5-9人	12 ( 17.6 )	13 ( 19.1 )	5 ( 20.8 )	30 ( 18.8 )	
10人以上	19 ( 27.9 )	26 ( 38.2 )	7 ( 29.2 )	52 ( 32.5 )	
合計	68 ( 100.0 )	68 ( 100.0 )	24 ( 100.0 )	160 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月のその場限りのアナルセックス相手と出会った場所(複数回答)</b>					
ハッテン場	64 ( 22.9 )	55 ( 82.1 )	20 ( 74.1 )	139 ( 78.5 )	0.631
バー	17 ( 20.5 )	10 ( 4.9 )	10 ( 37.0 )	37 ( 20.9 )	0.058
出会い系サイト	41 ( 49.4 )	21 ( 31.3 )	5 ( 18.5 )	67 ( 37.9 )	<u>0.006</u>
クラブ	5 ( 6.0 )	3 ( 4.5 )	0 ( 0.0 )	8 ( 4.5 )	0.425
その他	8 ( 9.6 )	6 ( 9.0 )	2 ( 7.4 )	16 ( 9.0 )	0.940

付表1. 2005年大阪地域MSM質問紙調査 年齢別集計

\*  $\chi^2$ 検定、5未満のセルがある場合はFisher直接検定

	20-29歳(%)	30-39歳 (%)	40歳以上 (%)	合計 (%)	P値*
<b>過去6ヶ月アナルセックス時のコンドーム使用(その場限り・挿入側)</b>					
毎回使った	26 ( 41.9 )	25 ( 49.0 )	10 ( 47.6 )	61 ( 45.5 )	0.521
使用が多い・半々	19 ( 30.6 )	17 ( 33.3 )	4 ( 19.0 )	40 ( 29.9 )	
全く不使用・不使用が多かった	17 ( 27.4 )	9 ( 17.6 )	7 ( 33.3 )	33 ( 24.6 )	
合計	62 ( 100.0 )	51 ( 100.0 )	21 ( 100.0 )	134 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月アナルセックス時のコンドーム使用(その場限り・被挿入側)</b>					
毎回使った	24 ( 44.4 )	23 ( 57.5 )	5 ( 50.0 )	52 ( 50.0 )	0.351
使用が多い・半々	15 ( 27.8 )	12 ( 30.0 )	4 ( 40.0 )	31 ( 29.8 )	
全く不使用・不使用が多かった	15 ( 27.8 )	5 ( 12.5 )	1 ( 10.0 )	21 ( 20.2 )	
合計	54 ( 100.0 )	40 ( 100.0 )	10 ( 100.0 )	104 ( 100.0 )	
<b>最後のアナルセックスでのコンドーム使用 * 過去6ヶ月にアナルセックスを行ったものに限定</b>					
使用した	83 ( 64.3 )	71 ( 59.2 )	27 ( 45.8 )	181 ( 58.8 )	0.056
使用しなかった	46 ( 35.7 )	49 ( 40.8 )	32 ( 54.2 )	127 ( 41.2 )	
合計	129 ( 100.0 )	120 ( 100.0 )	59 ( 100.0 )	308 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月にアルコールを飲用してセックスをした経験 * 過去6ヶ月にオーラル・アナルセックスを行ったものに限定</b>					
ある	92 ( 71.9 )	78 ( 65.5 )	41 ( 69.5 )	211 ( 69 )	0.565
なし	36 ( 28.1 )	41 ( 34.5 )	18 ( 30.5 )	95 ( 31 )	
合計	128 ( 100.0 )	119 ( 100.0 )	59 ( 100.0 )	306 ( 100.0 )	
<b>これまでにセックスの時に併用経験があるドラッグ(複数回答)</b>					
ラッシュ	130 ( 75.1 )	119 ( 65.7 )	36 ( 32.7 )	285 ( 61.4 )	0.000
ゴメオ	51 ( 29.5 )	37 ( 20.4 )	10 ( 9.1 )	98 ( 21.1 )	0.000
スピード	9 ( 5.2 )	5 ( 2.8 )	4 ( 3.6 )	18 ( 3.9 )	0.507
ケタミン	2 ( 1.2 )	1 ( 0.6 )	2 ( 1.8 )	5 ( 1.1 )	0.550
マリファナ	15 ( 8.7 )	12 ( 6.6 )	5 ( 4.5 )	32 ( 6.9 )	0.413
MDMA	2 ( 1.2 )	6 ( 3.3 )	3 ( 2.7 )	11 ( 2.4 )	0.391
勃起促進剤	16 ( 9.2 )	23 ( 12.7 )	10 ( 9.1 )	49 ( 10.6 )	0.498
GHB	0 ( 0.0 )	1 ( 0.6 )	2 ( 1.8 )	3 ( 0.6 )	0.251
マジックマッシュルーム	10 ( 5.8 )	1 ( 0.6 )	2 ( 1.8 )	13 ( 2.8 )	0.008
その他	5 ( 2.9 )	8 ( 4.4 )	2 ( 1.8 )	15 ( 3.2 )	0.472
今まで全ての利用なし	41 ( 23.7 )	58 ( 32.0 )	72 ( 65.5 )	171 ( 36.9 )	0.000
<b>過去6ヶ月のセックス時のラッシュ・ゴメオの使用 * 過去6ヶ月にオーラル・アナルセックスを行ったものに限定</b>					
ラッシュのみ	60 ( 47.2 )	46 ( 39.0 )	17 ( 29.3 )	123 ( 40.6 )	0.000
ゴメオのみ	0 ( 0.0 )	2 ( 1.7 )	0 ( 0.0 )	2 ( 0.7 )	
両方使った	32 ( 25.2 )	19 ( 16.1 )	2 ( 3.4 )	53 ( 17.5 )	
いずれも使わず	35 ( 27.6 )	51 ( 43.2 )	39 ( 67.2 )	125 ( 41.3 )	
合計	127 ( 100.0 )	118 ( 100.0 )	58 ( 100.0 )	303 ( 100.0 )	
<b>過去6ヶ月間セックス時にドラッグを併用した際の症状(複数回答)</b>					
* 過去6ヶ月にオーラル・アナルセックスを行ったものに限定					
記憶がなくなった	12 ( 12.5 )	2 ( 2.8 )	0 ( 0.0 )	14 ( 7.4 )	0.031
意識を失った	3 ( 3.1 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	3 ( 1.6 )	0.474
体が動かせない	13 ( 13.5 )	7 ( 9.7 )	2 ( 10.0 )	22 ( 11.7 )	0.805
調子が悪くなり病院へ行った	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0.0 )	0 ( 0 )	
誰でもいいからセックスしたくなった	22 ( 22.9 )	9 ( 12.5 )	1 ( 5.0 )	32 ( 17 )	0.081
その他	9 ( 9.4 )	4 ( 5.6 )	1 ( 5.0 )	14 ( 7.4 )	0.666
いずれもあてはまらない	58 ( 60.4 )	53 ( 73.6 )	16 ( 80.0 )	127 ( 67.6 )	0.102

### III. 研究成果一覽

研究論文別刷

Ⅲ 研究成果の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
橋本修二、井上洋士、川戸美由紀、村上義孝、木村博和、市川誠一、中村好一、木原正博、福富和夫	HIV感染からその自覚と医療施設の受信までの時間的流れ	日本エイズ学会誌	第7巻1号	31-36	2005
辻 宏幸、鬼塚哲郎	MASH大阪によるゲイコミュニティ向けHIV/STI予防活動	保健師ジャーナル	第61巻2号	184-188	2005

## 原 著

## HIV 感染からその自覚と医療施設の受診までの時間的遅れ

橋本 修二<sup>1)</sup>, 井上 洋士<sup>2)</sup>, 川戸美由紀<sup>1)</sup>, 村上 義孝<sup>3)</sup>, 木村 博和<sup>4)</sup>,  
市川 誠一<sup>5)</sup>, 中村 好一<sup>6)</sup>, 木原 正博<sup>7)</sup>, 福富 和夫<sup>8)</sup>

<sup>1)</sup> 藤田保健衛生大学医学部衛生学

<sup>2)</sup> 千葉大学看護学部地域看護学講座訪問看護学分野

<sup>3)</sup> 国立環境研究所環境健康研究領域疫学・国際保健学

<sup>4)</sup> 横浜市立大学医学部公衆衛生学

<sup>5)</sup> 名古屋市立大学大学院看護学研究科

<sup>6)</sup> 自治医科大学公衆衛生学

<sup>7)</sup> 京都大学大学院医学研究科社会疫学

<sup>8)</sup> 国立保健医療科学院特別研究員

**目的:** HIV 感染からその自覚までの時間的遅れ, 自覚から医療施設の受診までの時間的遅れ, および, AIDS 患者における AIDS 発病前の HIV 検査受診状況を検討した。

**対象および方法:** エイズ拠点病院の 4 医療施設を, 2002 年 11 月~2003 年 4 月に受診した HIV 感染者・AIDS 患者を対象として, 無記名自記式質問票による調査を実施した。質問内容は HIV 感染時点, 感染自覚時点, 医療施設の受診時点, および, AIDS 患者では発病前の HIV 検査の受診状況などであった。解析には 170 人のデータを用いた。

**結果:** HIV 感染時期と自覚時期の両方の回答者 66 人において, HIV 感染から自覚までの遅れは 1~2 年が 21%, 3 年以上が 17% であった。HIV 感染自覚時期と医療施設受診時期の両方の回答者 163 人において, HIV 感染の自覚から医療施設の受診までの時間的遅れは 1 か月未満が 69%, 1 年以上が 2% であった。AIDS 発病者 34 人において, AIDS 発病前の HIV 検査は受診が 24%, 未受診が 76% であり, 未受診理由は「HIV 感染を思いもしなかった」が多かった。

**結論:** HIV 感染から自覚までの遅れがかなり長く, 自覚から医療施設の受診までの遅れは比較的短いことが示唆された。さらに研究を進めることが重要であろう。

**キーワード:** HIV, AIDS, HIV 感染の自覚, 医療施設の受診, 遅れ

日本エイズ学会誌 7: 31-36, 2005

## はじめに

HIV 感染者の多くは特異的な症状がなく, AIDS を発病するか, あるいは, HIV 検査によってその感染が分かる。HIV 感染を自覚して, 医療施設を受診すると, 多剤併用療法などの有効な抗 HIV 治療を受けることができる<sup>1,2)</sup>。これらの間の時間的遅れを短縮することは, HIV 感染者の AIDS 発病の予防, および, HIV 感染が未自覚のために生ずる新たな HIV 感染発生の予防などの面できわめて大切である<sup>3,4)</sup>。

HIV 感染からその自覚と医療施設の受診までの時間的遅れについては, HIV 検査を未受診で HIV 感染を自覚していない者を含めて検討することが望ましい。しかし, 未自覚の HIV 感染者の把握は現実にはきわめて困難である

ことから, 受療中の HIV 感染者・AIDS 患者について検討する意義は小さくない<sup>5-7)</sup>。また, AIDS 患者における AIDS 発病前の HIV 検査受診状況についても, HIV 感染から自覚までの時間的遅れを考える上で貴重な情報を提供するものと考えられる。

わが国では, HIV 感染から医療施設の受診までの時間的遅れが大きいと報告されている<sup>7)</sup>。この報告は 1997 年までの HIV 感染者を対象としており, その後の抗 HIV 治療の進展や HIV 検査体制の整備の状況を考慮すると<sup>8-10)</sup>, 現在では, その時間的遅れが短縮している可能性もある。また, HIV 感染から医療施設の受診までの遅れは, HIV 感染から自覚までの遅れ, 自覚から医療施設の受診までの遅れに分けることができるが, 別々に評価することも重要である。

本研究では, 受療中の HIV 感染者・AIDS 患者について, HIV 感染からその自覚までの遅れ, 自覚から医療施設の受診までの遅れ, および, AIDS 患者における AIDS 発病前の HIV 検査受診状況を検討した。

著者連絡先: 橋本修二 (〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98 藤田保健衛生大学医学部衛生学講座)  
Fax: 0562-93-2456

2004 年 8 月 30 日受付; 2004 年 10 月 29 日受理

## 対象および方法

### 1. 調査対象者

日本の都市部にあるエイズ拠点病院の4医療施設（関東地方が2施設、近畿地方が1施設、その他の地方が1施設）を対象施設とした。調査対象施設を2002年11月～2003年4月に受診したHIV感染者・AIDS患者の中で、性的接触が感染経路である定期的な通院者全員を調査対象者とした。ただし、HIV感染告知から1か月未満の者および外国人は、それぞれ倫理的配慮と日本語理解力の懸念から対象外とした。調査対象者は各施設の報告から603人であった。

### 2. 調査方法

各調査対象者に対して、2002年11月～2003年4月に、各医療施設において同施設の医師または看護師を通じて無記名自記式調査票を配布し、郵送にて回収した。調査票の配布の際に、調査主旨とプライバシー保護、とくに各医療施設のスタッフが回答済みの調査票を見ないことを調査対象者に十分説明した。調査票の配布人数は299人であり、その中で回収された人数は170人（57%）であった。

調査票の内容としては、性、年齢、AIDS発病の有無、感染経路、感染場所、感染時期、感染自覚時期、医療施設受診時期などとした。AIDS患者に対しては、AIDS発病前のHIV検査の受診状況と未受診理由も含めた。質問文として、感染時期は「あなたが実際にHIV感染したのは、いつ頃だと思いますか」、感染自覚時期は「あなたがお自分のHIV感染を初めて知ったのは、いつですか」、医療施設受診時期は「あなたがお自分のHIV感染を知った後、その治療のために医療機関（今の医療機関でなくともよい）を受診したのは、いつですか」であり、回答はいずれも年月とした。

### 3. 解析方法

調査票の回収者170人について、HIV感染からその自覚までの期間、および、自覚から医療施設受診までの期間について、その分布を求めた。HIV感染から自覚までの期間は感染時期と感染自覚時期の差とし、両方の時期が回答された者を集計した。HIV感染の自覚から医療施設受診までの期間は感染自覚時期と医療施設受診時期の差とし、両方の時期が回答された者を集計した。いずれの期間ともに1か月未満、1～2月、3～5月、6～8月、9～11月、1年、2年、3年以上に区分した。

AIDS患者について、AIDS発症前のHIV検査の受診状況、および、その未受診者では未受診理由を集計した。未受診理由は「HIV感染を思いもしなかった」と「それ以外」に区分した。

## 結 果

### 1. 対象者の属性

表1に対象者170人の属性を示す。HIV感染者が130人、AIDS患者が35人、不明が5人であった。男がほとんどであり、30～39歳が49%であった。感染経路は同性間性的接触が78%であり、感染場所はほとんどが国内であった。

### 2. HIV感染からその自覚と医療施設受診までの時間的遅れ

図1にHIV感染からその自覚までの時間的遅れを示す。この集計はHIV感染時期と自覚時期の両方の回答者66人（39%）が対象であった。なお、集計対象外の104人の中で、103人はHIV感染時期が不明であった。この集計対象者の中で、HIV感染から自覚までの遅れは1年未満が62%、1～2年が21%、3年以上が17%であった。

図2にHIV感染の自覚から医療施設受診までの時間的遅れを示す。この集計はHIV感染自覚時期と医療施設受診時期の両方の回答者163人（96%）が対象であった。この集計対象者の中で、HIV感染の自覚から医療施設受診までの時間的遅れは1か月未満が69%、1～11月が

表1 対象者の属性

		人数	%
AIDS 発病	あり	35	20.6
	なし	130	76.5
	不明	5	2.9
性	男	161	94.7
	女	7	4.1
	不明	2	1.2
年齢	20～29 歳	27	15.9
	30～39	84	49.4
	40～49	31	18.2
	50～59	18	10.6
	60～69	8	4.7
	不明	2	1.2
感染経路	異性間性的接触	16	9.4
	同性間性的接触	133	78.2
	その他	2	1.2
	不明	19	11.2
感染場所	国内	142	83.5
	国外	10	5.9
	不明	18	10.6



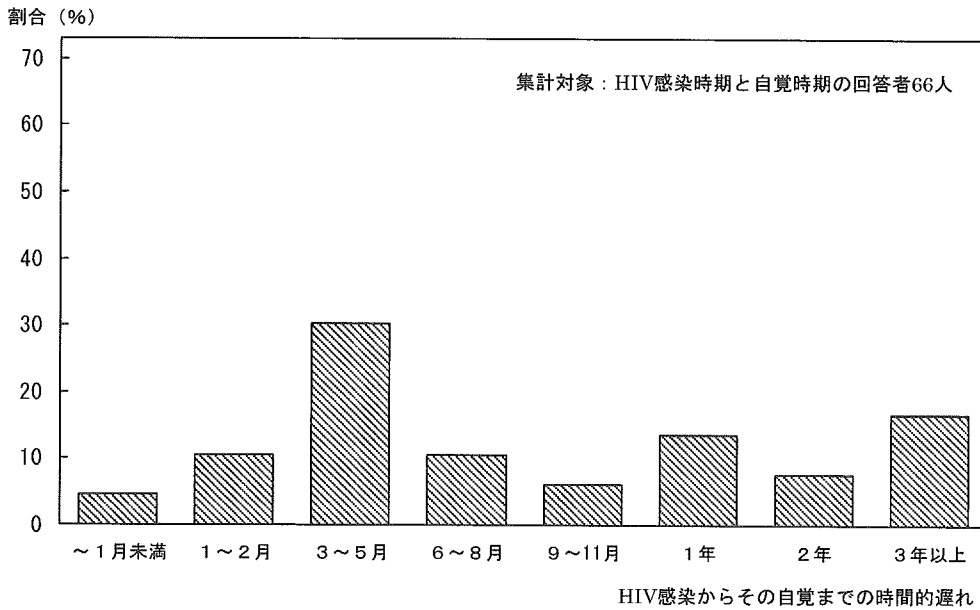


図 1 HIV 感染からその自覚までの時間的遅れ

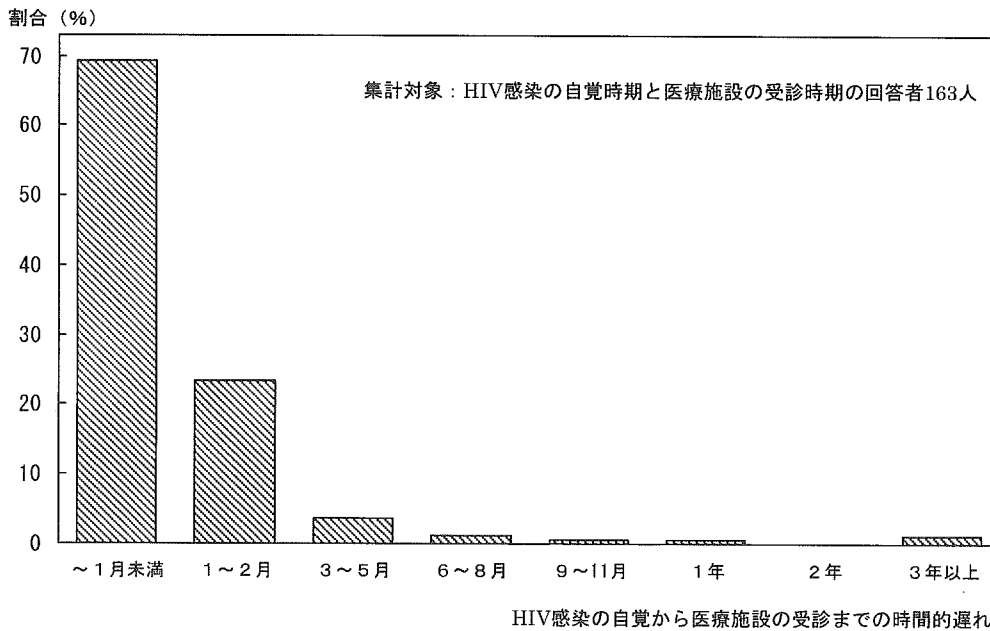


図 2 HIV 感染の自覚から医療施設を受診までの時間的遅れ

29%、1年以上が2%であった。

### 3. AIDS 発病前の HIV 検査受診状況

図3に AIDS 発病前の HIV 検査受診状況を示す。AIDS 発病者 34 人の中で、AIDS 発病前の HIV 検査は受診が 24%、未受診が 76% であった。未受診者 26 人の中で、未受診理由は「HIV 感染を思いもなかった」が 69% であった。

### 考 察

調査対象者は受療中の HIV 感染者・AIDS 患者であった。HIV 検査の未受診者などは含まれていないが、前述の通り、その把握自体が現実にはきわめて困難なためである。調査対象の医療施設は 4 つのエイズ拠点病院とした。受療

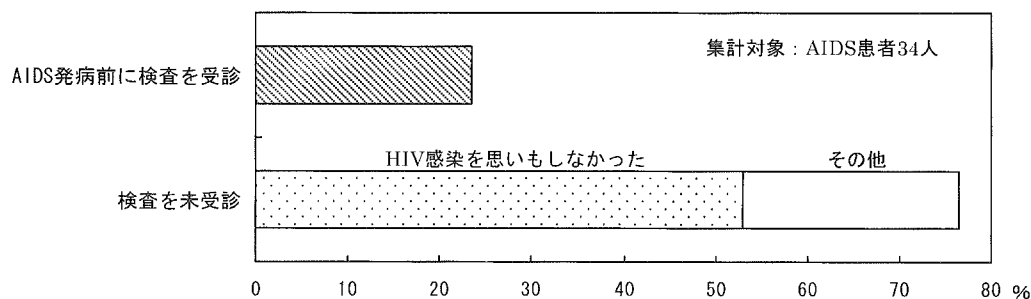


図 3 AIDS 発病前の HIV 検査の受診状況

中の HIV 感染者・AIDS 患者の全体において、そのほとんどはエイズ拠点病院で受療し、また、その多くは比較的少数の医療施設であると指摘されている<sup>11,12)</sup>。本調査対象の医療施設はその中に含まれている。

本解析は調査票を配布・回収できた者に限られている。調査票の配布者は調査対象者の 50% (299 人/603 人)、回収者は配布者の 57% (170 人/299 人)であった。前者は主として医療施設の協力状況、後者は調査対象者の協力状況が関係していたと考えられる。前述の通り、調査方法上の配慮を行ったものの、配布率・回収率ともに必ずしも高くなく、この点は本研究の問題である。

本解析の対象者の属性として、男がほとんど、30 歳代が 49%、国内感染がほとんど、同性間性的接触による感染が 78%であった。エイズ発生動向調査によれば<sup>13)</sup>、最近の日本国籍 HIV 感染者・AIDS 患者の報告数では、男がほとんど、30 歳代が多いものの、20 歳代も少なくなく、国内感染がほとんどである。同性間性的接触による感染が多いものの、異性間性的接触による感染も少なくない。これと比較すると、本対象者は性別と感染場所が比較的類似し、一方、年齢がやや高く、同性間性的接触が多い傾向であった。これらの相違による本結果への影響は明らかではないが、本結果をみるときに念頭におくことが重要であろう。

HIV 感染から自覚までの遅れについては、1~3 年未満が 21%、3 年以上が 17%であった。これは、HIV 感染時点と感染自覚時点の両方が回答された者(解析対象者の 39%)に限られたが、この遅れがかなり長いことを示唆していると考えられる。HIV 感染時点については、頻回な性的接触を行っている者では時点の特定が困難なために、不明回答が多かったと考えられる。また、その回答された感染時点の正確性は必ずしも高くないかもしれない。

HIV 感染の自覚から医療施設の受診までの遅れについては、1 か月未満が 69%であり、1 年以上は 2%であった。この遅れについては比較的短いことが示唆された。これは、対象者のほとんどを集計対象とし、しかも、感染の自覚時点と医療施設の受診時点が明確であることから、ある

程度、その回答の正確性も高いと考えられる。

HIV 感染から医療施設の受診までの遅れについて、先行研究をみると<sup>7)</sup>、受療中の日本国籍 HIV 感染者では、1~2 年が 36%、3 年以上が 28%であった。本結果における HIV 感染から自覚まで、および、自覚から医療施設の受診までを加えた遅れは、それよりもかなり短い傾向であった。この相違にはいくつかの理由が考えられる。対象施設は先行研究が東京都内の多くの病院、本研究が 4 つのエイズ拠点病院であった。HIV 感染時点の得られた割合は先行研究が 41%、本研究が 39%と類似していた。同性間性的接触の割合は先行研究が 41%、本研究が 78%とかなり異なった。本結果の遅れが先行研究よりも短いことに対して、この対象施設や調査対象者の属性の違いが関係していたのかもしれない。また、調査時期の違いから、先行研究は 1991~1997 年の受診者、本研究は 2002~2003 年の受診者であった。この間において、抗 HIV 治療法や HIV 検査の体制は大きく進展・普及した<sup>8-10)</sup>。これらの違いによって、この遅れが短縮していたのかもしれないが、さらに研究を進める必要がある。

AIDS 発病者において、AIDS 発病前の HIV 検査の未受診者が 76%を占めており、また、未受診理由は「HIV 感染を思いもしなかった」が多かった。これは、HIV 感染から医療施設の受診までの遅れがかなり長いことを示唆している。AIDS 発病の潜伏期間の中央値は 10 年程度と指摘されていることから<sup>14)</sup>、AIDS 発病者の多くはかなり以前に HIV 感染した者と考えられる。これより、以前の HIV 感染者は HIV 感染から医療施設の受診までの遅れが長かったことを示唆しているのかもしれない。

以上、本研究には多くの制限と問題があり、今後、さらに研究を進める必要があると考えられる。本結果からは、HIV 感染から自覚までの遅れがかなり長く、自覚から医療施設の受診までの遅れは比較的短いことが示唆された。この遅れの短縮のためには、とくに、潜在している HIV 感染者に対して HIV 検査の受診をより促進することが重要であろう。

謝辞：本研究は平成15年度厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）による「HIV感染症の動向と予防モデルの開発・普及に関する社会疫学的研究班」の一環として実施した。

## 文 献

- 1) 中村哲也, 白阪琢磨, 木村哲: 抗 HIV 治療ガイドライン 2004年3月. 平成15年度厚生労働科学研究費(エイズ対策研究事業) HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究班報告書, 2004.
- 2) Graham NM, Zeger SL, Park LP, Vermund SH, Detels R, Rinaldo C, Phair JP: The effects on survival of early treatment of human immunodeficiency virus infection. *N Engl J Med* 326: 1037-1042, 1992.
- 3) Klein D, Hurley LB, Merrill D, Quesenberry CP, Consortium for HIV/AIDS Interregional Research: Review of medical encounters in the 5 years before a diagnosis of HIV-1 infection: implication for early detection. *J AIDS* 32: 143-152, 2003.
- 4) 橋本修二, 福富和夫, 山口拓洋, 松山裕, 中村好一, 木村博和, 市川誠一, 木原正博: HIV 感染者数と AIDS 患者数のシステム分析による中長期展望の試み. *日本エイズ学会誌* 4: 8-16, 2002.
- 5) Samet JH, Freedberg KA, Savetsky JB, Sullivan LM, Stein MD: Understanding delay to medical care for HIV infection: the long-term non-presenter. *AIDS* 15: 77-85, 2001.
- 6) Matsuyama Y, Hashimoto S, Ichikawa S, Nakamura Y, Kidokoro T, Umeda T, Kamakura M, Kimura S, Fukutomi K, Ikeda C, Kihara M: Trends in HIV and AIDS based on HIV/AIDS surveillance data in Japan. *Int J Epidemiol* 28: 1149-1155, 1999.
- 7) Hashimoto S, Matsumoto T, Nagai M, Matsuyama Y, Nakamura Y, Umeda T, Kamakura M, Ichikawa S, Kimura S, Fukutomi K, Kihara M: Delays and continuation of hospital visits among HIV-infected persons and AIDS cases in Japan. *J Epidemiol* 10: 65-70, 2000.
- 8) 橋本修二, 山口拓洋, 岡慎一, 吉崎和幸, 木村哲, 福武勝幸, 白阪琢磨: 血液製剤による HIV 感染者の CD 4 値, HIV-RNA 量と抗 HIV 治療の現状. *日本エイズ学会誌* 3: 16-22, 2001.
- 9) 山口拓洋, 橋本修二, 岡慎一, 吉崎和幸, 木村哲, 福武勝幸, 白阪琢磨: 血液製剤による HIV 感染者の CD 4 値, HIV-RNA 量と抗 HIV 治療の推移, および, それらの関連. *日本エイズ学会誌* 3: 23-30, 2001.
- 10) 今井光信, 須藤弘二, 嶋貴子, 西澤雅子, 近藤真規子: 日本の HIV 感染の Epidemiology と検査体制. *泌尿器外科* 16: 156-162, 2003.
- 11) 山口拓洋, 橋本修二, 川戸美由紀, 中村好一, 木村博和, 市川誠一, 松山裕, 木原正博, 白阪琢磨: エイズ治療の拠点病院における HIV/AIDS の受療者数. *日本エイズ学会誌* 4: 91-95, 2002.
- 12) 川戸美由紀, 橋本修二, 山口拓洋, 松山裕, 中村好一, 木村博和, 市川誠一, 木原正博, 白阪琢磨: エイズ拠点病院における HIV/AIDS の受療者数の推移. *日本エイズ学会誌* 6: 31-36, 2004.
- 13) 厚生労働省エイズ動向委員会: 平成15年エイズ発生動向年報(平成15(2003)年1月1日~12月31日). 2004.
- 14) Chin J, Lwanga SK: Estimation and projection of adult AIDS cases: a simple epidemiological model. *Bull WHO* 69: 399-406, 1991.

## Delay in Awareness of HIV and Hospital Visit after Date of Infection among HIV-infected and AIDS Patients in Japan

Shuji HASHIMOTO<sup>1)</sup>, Yoji INOUE<sup>2)</sup>, Miyuki KAWADO<sup>1)</sup>,  
Yoshitaka MURAKAMI<sup>3)</sup>, Hirokazu KIMURA<sup>4)</sup>, Seiichi ICHIKAWA<sup>5)</sup>,  
Yosikazu NAKAMURA<sup>6)</sup>, Masahiro KIHARA<sup>7)</sup> and Kazuo FUKUTOMI<sup>8)</sup>

<sup>1)</sup> Department of Hygiene, Fujita Health University School of Medicine

<sup>2)</sup> Department of Community Nursing, School of Nursing, Chiba University

<sup>3)</sup> Epidemiology and International Health Research Section, Environmental Health Sciences  
Division, National Institute for Environmental Studies

<sup>4)</sup> Department of Public Health, Yokohama City University School of Medicine

<sup>5)</sup> Nagoya City University School of Nursing

<sup>6)</sup> Department of Public Health, Jichi Medical School

<sup>7)</sup> Kyoto University School of Public Health

<sup>8)</sup> National Institute of Public Health

**Objective** : The delay between HIV infection and patient awareness and hospital visit among HIV-infected and AIDS patients in Japan was examined.

**Material & Methods** : A self-administered questionnaire was distributed to HIV-infected and AIDS patients visiting 4 area hospitals specializing in AIDS treatment between November 2002 and April 2003. The questionnaire included dates of HIV infection, awareness of it and hospital visit, and HIV testing before AIDS developed. We then analyzed the data from 170 patients.

**Results** : The delay from HIV infection until awareness of it was 1-2 years for 21% and more than 3 years for 17% of 66 respondents. The delay from awareness of HIV infection until hospital visit was less than 1 month for 69% and more than 1 year for 2% of 163 patients responding. Before AIDS developed, 76% of the AIDS patients did not undergo HIV testing. The frequent reason for no HIV testing was "I was not afraid of HIV infection."

**Conclusion** : These results suggested that the delay from HIV infection until awareness of it was long, but that the delay in visiting a hospital was short. Further research is important.

**Key words** : HIV, AIDS, awareness of HIV infection, hospital visit, delay